



○鳥獣被害防止総合対策事業（R8 年度事業）の事業計画検討会を行っています

鳥獣被害防止総合対策事業における各事業実施主体の翌年度事業実施計画を固めるため、11月下旬～1月上旬にかけて、関係者（実施主体、事務所農政課、野生イノシシ対策室の各担当者等）参集のうえ、事業計画の検討会（ヒアリング）を行います。実施主体におかれては、資料等のご準備をお願いします。（この号が発行される頃には、すでに検討会が始まっています。終了した実施主体のみなさま、お疲れ様でした<m(____)m>）

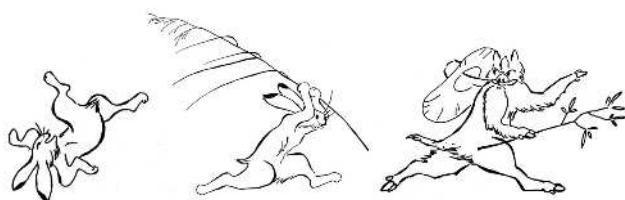
オンライン、書面等でも開催は可能ですが、円滑なコミュニケーションのためには、対面での開催が最適と考えます。気ぜわしい年末年始の中、恐縮ですが、ご協力をお願いします。鳥獣対策に係ることならば、議題は問いません。

なお、整備事業を計画している実施主体は、合わせて現地確認も行います。

整備事業現地確認の様子（R6.12）



（NA）



愛知県農業水産局農政部
農業振興課野生イノシシ対策室
お問い合わせ Tel052-954-6726



○ 2025年度後期 1 回目豚熱経口ワクチンの回収調査結果について

野生イノシシ対策室では、豚熱経口ワクチンの野外散布を行っています。散布後、イノシシがワクチンをどれくらい摂取したかを把握するため、一部地点において経口ワクチンの回収調査を実施しています。この度、2025年度後期 1 回目（今年度 2 回目）の経口ワクチン散布が 10 月に完了したため、野生イノシシ対策室職員及び散布委託業者でワクチン殻の回収調査を行いました。

○調査時期

2025年度後期 1 回目散布後概ね 1 ヶ月以内（2025年 9 月～11 月）

○調査場所

瀬戸市（7 地点）、長久手市（2 地点）、日進市（2 地点）、豊田市（66 地点）、岡崎市（19 地点）、豊橋市（5 地点）、田原市（15 地点）の計 116 地点

○調査方法

野生イノシシ対策室職員が回収調査を行った 36 地点と、散布委託業者が回収を行った 80 地点の調査結果をもとに、イノシシによるワクチン摂取率を散布地点周辺の植生別に算出しました。



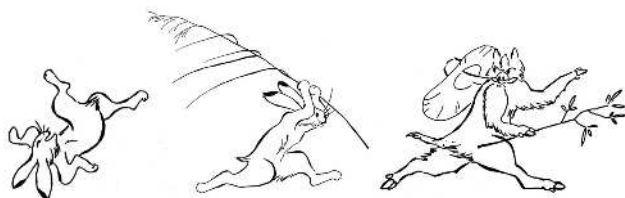
野生イノシシ対策室職員による回収調査の様子



散布地点周辺の水たまりに残されていた足跡

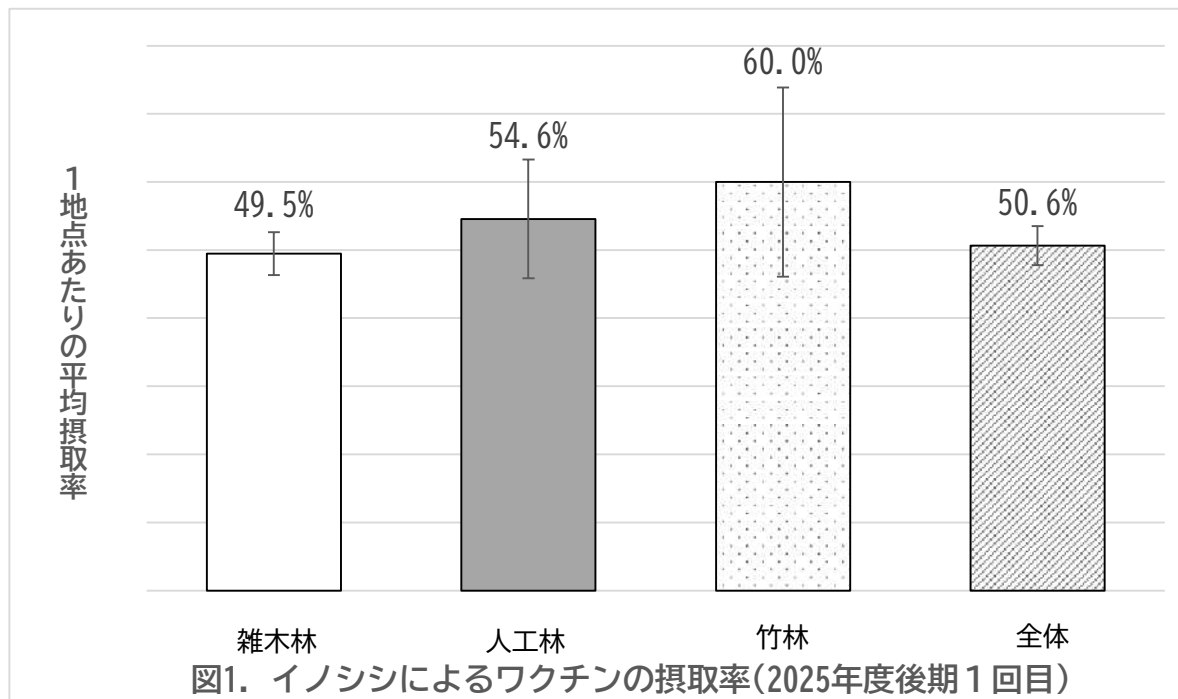
○結果

図 1 は、イノシシによるワクチン摂取率を地点周辺の植生別に示したものです。雑木林（草地・荒地、雑木が多い樹林）、人工林（スギ・ヒノキが多い樹林）、竹林（竹や笹が多い樹林）の中にある散布地点の結果を示しており、摂取率は全体で 50.6%となりました。植生別では、竹林が最も高く、次いで人工林、雑木林の順番になりました。人工林と比べ、イノシシの食物となる木の実等が多い雑木林の方がイノシシの生息数が多い傾向にあり、





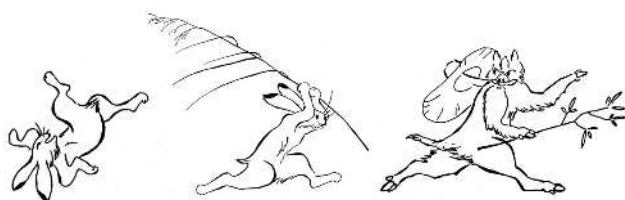
ワクチン摂取率も高くなると推測されましたが、結果は人工林の方が高くなりました。雑木林における摂取率が人工林より低くなった要因として、雑木林内にはドングリやクリ等イノシシが好む果実が落果しており、林内にワクチン以外の食物が豊富にあったことで摂取数が減少したことが考えられます。



〇まとめ

イノシシの食性や行動パターンの季節変化を正確に把握し、イノシシの動きに合わせた散布地点設定ができれば、より多くのイノシシにワクチンを食べさせることができると考えられました。今後も引き続き回収調査を続け、摂取率が低い地点については場所の改善等を検討し、イノシシのワクチン摂取率向上につなげたいと思います。

(S A)





○イノシシの捕獲頭数について【2025 年度第 2 四半期速報】

県内の有害鳥獣捕獲及び指定管理鳥獣捕獲等事業により捕獲されたイノシシの頭数について、2025 年度第 2 四半期分（7 月から 9 月まで）がまとまりました（表）。

第 2 四半期の県全体の捕獲頭数について、2025 年度（速報値）は 3,359 頭と、前年度と比べ、やや増加しています。地域別に見ると、前年度と比較して、尾張地域はやや増加、西三河地域及び新城設楽地域は減少、東三河地域は大きく増加で推移しています（図 1）。

捕獲頭数の累計値（第 2 四半期末時点）は 4,251 頭と、前年度と比べ、やや減少しています。地域別にみると、前年度と比較して、尾張地域はやや増加、西三河地域及び新城設楽地域では大きく減少、東三河地域では大きく増加で推移しています（図 2）。

表 直近 3 年度の地域ごとの野生イノシシの捕獲頭数（頭）

	第 2 四半期			第 2 四半期までの累計		
	2025 年度 【速報】	2024 年度	2023 年度	2025 年度 【速報】	2024 年度	2023 年度
尾張地域	494	438	383	649	604	517
西三河地域	1,900	1,992	1,832	2,365	2,639	2,157
新城設楽地域	258	368	238	386	561	377
東三河地域	707	405	614	851	596	722
計	3,359	3,203	3,067	4,251	4,400	3,773

図 1 野生イノシシの捕獲頭数の推移
（第 2 四半期）

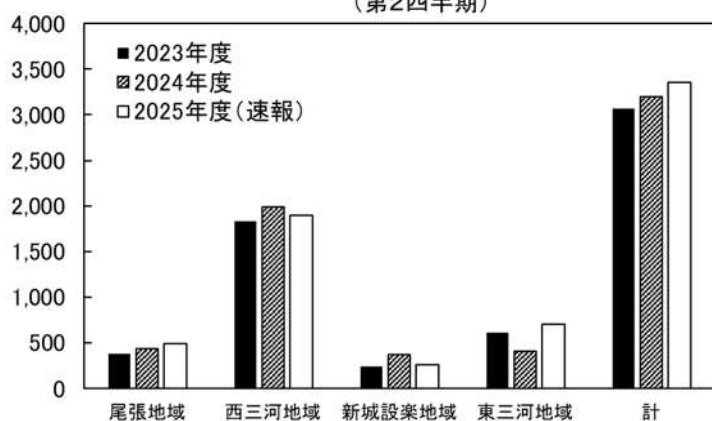
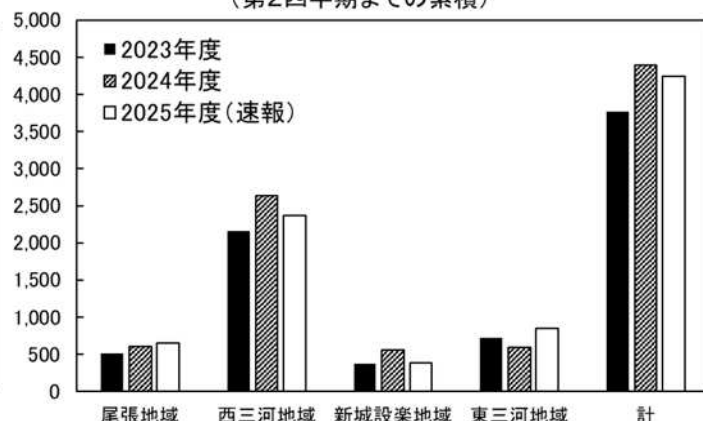
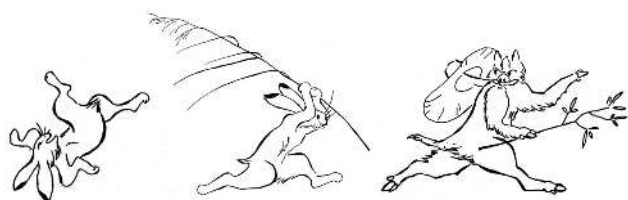


図 2 野生イノシシの捕獲頭数の推移
（第 2 四半期までの累積）



（Y K）



愛知県農業水産局農政部
農業振興課野生イノシシ対策室
お問い合わせ Tel052-954-6726



○愛知県わな捕獲技術向上セミナーを開催しました！

愛知県では、野生鳥獣による農業被害が頻発していることを受け、その捕獲の担い手となる狩猟者の確保・育成を行っています。9月27日（土）に北小田の家（豊田市北小田町伯母平28）において、わな猟の初心者等を対象としたセミナーを開催しました。参加者は30代から70代までの幅広い年代で、計19名の方に参加いただきました。

当日午前中は、「ジビエの利用について」、「わな捕獲の極意」について講義を行いました。ジビエの利用については、実際に食べた獣種でおいしかったランキングを発表してもらい、参加者に何が1位か予想してもらおうなど盛り上がっていました。わな捕獲の極意については、現場のリアルな映像も交えた講義を行いました。また、午後からは、大型獣用箱わなの見学や、会場近くの山でくくりわなの架設実習を実施しました。

参加者のアンケートでは、セミナー全体を通して満足との回答をいただき、「大変有意義な講義でした。」などの感想がありました。

次年度以降も、同様のセミナー開催を予定しております。開催時期については、愛知県ホームページにて告知しますので、ご興味ある方はぜひご参加ください。



講義の様子



道具の使い方説明の様子

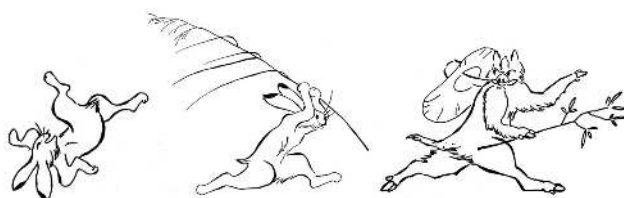


大型獣用箱わなの解説の様子



くくりわな架設実習の様子

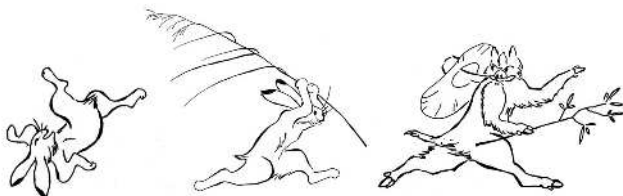
（Y K）





野生イノシシ対策室マスコットキャラクター
いのべえ

☆あいち鳥獣通信のバックナンバーは、
野生イノシシ対策室の Web ページ
「[野生鳥獣資料室](#)」で公開中



愛知県農業水産局農政部
農業振興課野生イノシシ対策室
お問い合わせ TEL052-954-6726